

## 相補レメディ Complementary Remedies の比較 Coloc. Caust. Staph.

### ◇部位

Coloc 神経(三叉神経;腹部の;脊椎の;坐骨の)。消化管。腸。卵巣。腎臓。右側。左側。

Staph 神経。歯。尿生殖路。繊維組織(目蓋、皮膚)腺。右の三角筋。右側。左側。

Caust 神経(運動;知覚)。筋肉(膀胱;喉頭;手足)。呼吸。皮膚。右側;顔面。左側。

### ◇モダリティ

#### 悪化<

Coloc 感情の動き。腹の立つこと。悔しさ。怒り。痛みのある方を下に寝る。侮辱によって生じた屈辱。チーズ(疝痛)

Staph 感情。性的不摂生。自慰。触る。冷たい飲食。裂傷。水銀。夜。煙草。

Caust 空気(乾いた、冷たい;うすら寒い;風;隙間風)。極端な気温。体を屈める。抑圧。コーヒー。午前 3~4 時または夕方。骨の折れる作業。明るく澄み切った天気。汗をかいている間。新月。濡れる。戸外から暖かい部屋の中に入る。

#### 好転>

Coloc 体を曲げる;強い圧迫。熱。休息。穏やかな動作。排便後や放屁後。腹ばいで寝る。触る。

Staph 暖かさ。休息。朝食。

Caust 冷たい飲み物。洗う。暖かさ;ベッドの。静かな動作。暖かい空気。じめじめした、湿気のある天気。

### ◇特徴

Coloc 怒りと連動した急性のレメディ。「抑圧された怒り」によって引き起こされる症状。胃や消化器、神経系に効果あり。腹部の痛みは、突然のひどい差し込み、つかまれ、引き裂かれるよう。患者は身をよじり、のたうち回る。

Staph ちょっとしたことにも敏感だが、それを出さないで抑圧する。抑圧された感情から病気になる。性的なことにも敏感。震えを伴う神経疾患。歯と泌尿器の問題。手術後の不調。

Caust 神経と筋肉に作用し、麻痺・衰弱を起こす。イボができやすい。深いやけど。震えや痙攣。精神疲労。共感しすぎる。